

全体朝礼 挨拶 (間を大切に)

令和6年9月30日

皆さん、おはようございます。

ここ最近、日中は気温が高い日もありますが、朝夕は気温も下がって清々しい日もあったりと、8月の盛夏の頃と比べると過ごしやすくなりました。この様に、季節の移り変わりを感ずることのできる期間になってきました。

また、先週は、3年生の就職希望者にとって、人生における一つのターニングポイントとも言える採用試験も大半は過ぎ、少しは落ち着いたところではないでしょうか。

この季節の節目、出来事の節目など、事の移り変わる(あいだ)、間にも、心を寄せて過すことは、自分を向上させる上で大切です。

つい、忙しいと、次から次へと日々の出来事に追われ、見返すこと無く過ごしてしまいがちです。

「忙しい」とは、「心を亡くす」と書いて「忙しい」と言います。ただただ「忙しい」「忙しい」と口癖がある人は、心を亡くし、考える間をも亡くしてしまっているかもしれません。

先日の進路激励会でも自分の想いを伝える際に、「間を大切にしてください。」と、お話をしました。受け答えの間については、先日お話をしたとおおり、相手が理解しやすいように配慮することでシンクロがしやすくなります。

その他の間には、「試合と試合」など出来事の間や、一つの動作を行う中で、動きをもっと細かく見直すなど「細分化」し、改善をするために見つめる間があると思います。

例えば、この度、10月に行われる全国工業高等学校ロボット競技大会へ出場する選手の皆さんが、県大会前にロボットから発出されるシャトルを、何回も何回も実験し、細分化した動きを観察する中で、真っ直ぐに安定させるための工夫を見つけ出し、成功することができたそうです。

これらの様に打開すべき問題点に直面したとき、「細分化」したその間に、見直す点や、次に繋がる注目すべきヒントが隠されているのです。

最後に、時や事の移りゆくその一瞬一瞬を、しっかりと見つめて過すことができたなら、皆さんは新たな発見や、「改善の種」「成長の種」を見つけることができるでしょう。

皆さんの明るい未来に期待をして、本日の挨拶といたします。